



令和5年2月28日
横浜市立上川井小学校
校長 山崎 真紀子

上川井だより

3月号

花咲く春に

子どもたちの植えた球根が花をつけ、ヒヤシンスの爽やかな香りが登校を見守っています。金魚池の金魚たちも池の下から上がってきて泳ぐ姿が見られるようになりました。そこそこに春の訪れを感じます。

子どもたちは小学校に入学すると、毎年、朝顔の種をまき世話をします。朝顔が芽を出して葉を増やし、花が咲いて実をつけ、また種に戻るまでの期間、絵をかいたり色水遊びを楽しんだりしながら観察します。種を収穫した後は、植木鉢をあげ、冬が近づくと、好きな花の球根を植えて世話をします。球根は、朝顔のような種子植物と違って、芽を出して花をつけた後、球根に養分を蓄えて季節を越します。同じ植物でも、その生長の様子や世代交代の仕組みは一様でないところが面白いです。ただ、どんな植物も芽が出る頃はわくわくし、花を愛でては幸せな気持ちになり、実をつければ収穫を楽しむ気持ちは同じなのではないでしょうか。

小学校生活も一人一人の成長は、それぞれですが、芽が出るのをわくわく待ちながら支援し、花が咲き実を結ぶときの喜びが大きいことは相違ありません。今年度、本校では子どもたちの「知りたい・やりたい・伝えたい」という気持ちを引きだし、人と関わる力や解決する力を育めるよう、指導・支援を行ってきました。3年ぶりに開催できた上小フェスティバル、宿泊学習、スピーチコンテストなどでは、自信をもって自分の思いを表現する姿を見ることができました。学校保健委員会や給食集会、読書集会など、それぞれの委員会主体の行事では、自分たちで課題を捉えて対策を考え、工夫して取り組む姿や堂々と伝える姿がありました。上川井小の子どもたちの中にある力が芽を出してきたことに大きな喜びを感じます。今後葉を増やし、花をつけ、これからの子どもたちの日々に豊かな実りが訪れるよう、より一層主体的な姿を目指して参ります。

これまで支えてきてくださった保護者の皆様、地域の皆様、本校への温かいご理解ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後とも上川井小をどうぞよろしく願います。

